

特別講演

9月13日(日) 15:10~16:40 3号館1階 50周年記念館

くまモンはなぜ愛されるのか ― 不易流行から読み解く“癒やし”の文化

講演者

柳田紀代子(EDIT Place Lab 代表、元尚絅大学現代文化学部 教授)

司会

多久島寛孝(熊本保健科学大学 保健学部)

【概要】

現代社会においては、歌手や俳優などのタレント、イメージキャラクター、スポーツアスリートなど、多様な「アイドル」が存在している。「推し活」文化に象徴されるように、こうした「アイドル」は時代が移り変わっても人々の心を強く惹きつけ続けている。その背景には、「不易」である人間の根源的な心理と、メディアや社会の変化に応じて姿を変える「流行」である文化的現象が重層的に関わっていると考えられる。

熊本県の公式キャラクターである「くまモン」は、2011年3月の九州新幹線全線開業をきっかけに誕生した。番組「くまもとの風 くまモンと共に〜熊本地震 活動再開までの3週間」(NHK熊本放送)で描かれたように、くまモンは単なるキャラクターとしての「アイドル」に留まらず、多くの人々に寄り添う普遍的な“癒やし”の存在となっている。

本講演では、くまモンが愛され続ける普遍的な理由と、その背景にある社会的変化を整理し、現代における“癒やし”の本質について考察する。

【柳田紀代子先生プロフィール】

熊本県庁において37年間行政分野に携わり、くまモン課長を経て、健康福祉部子ども・障がい福祉局長で退職。ホテル熊本テルサの代表として経営に取り組んだ後、尚絅大学現代文化学部教授として、地域活性化や観光分野の人材育成に尽力。現在は、地域ブランディングプロデューサーとして「EDIT Place Lab」を開設し、地域の活性化につながる実践的な活動を展開中。